

学生対象・薬学研修

研修地:カリフォルニア州 ロサンゼルス近郊



アメリカで薬学研修を行うメリットは？

＝PharmD(薬学博士)が必要なアメリカの薬剤師

「高い権限、専門性のある米国薬剤師」の活躍現場を体感！

✓ **医師とパートナー関係を保つ薬剤師**

アメリカでは薬剤師部門での分業化が進み、調剤業務は調剤テクニシャンが実施し、薬剤師の業務は処方設計、処方適切性の監視や調剤業務の監督、医師・看護師へアドバイザーとしての役割が中心となります。

✓ **学生インターンの現場での活躍**

アメリカの学生インターンは薬剤師の監督下、薬剤の確認・変更から服薬指導まで、ほぼ薬剤師と同等の業務を行えます。

生の声を聴き、仕事の喜び・大変さ、充実感をしっかり感じとる事ができます。

≫ 研修プログラムのメリット

大手急性期病院、地域調剤薬局、スペシャリティファーマシーなど様々な現場を視察し、それぞれの現場で薬剤師にじっくり話を聞くことができる。薬剤師によるプレゼンテーションで、更に深く現場の業務実態を理解。

自動化ロボットシステムや指紋認識システムを導入した配薬カートシステムなど、投薬の安全性を高める先端技術を紹介。

現地のインターン薬学生、新人薬剤師とのディスカッションを通じての交流セッション。英語に自信がなくても、現地日本人スタッフがしっかりサポートするので安心。

病院視察の前に、米国と日本の薬剤システムの比較、医療保険制度などのバックグラウンドを日本語でしっかり予習、現場スタッフの話がよく理解できる。通訳もとても分かりやすいと評判。

予算とニーズに合わせて、日程や研修内容を自由にアレンジ可能。
研修終了後には、アメリカ薬学研修修了書がもらえます。

ミレニア・エデュケーションのご紹介

長年の米国ヘルスケア業界での医療ネットワークを活かした、現場奥深くまで入り込んだ教育研修を提供。事前のニーズ把握から日米医療システムの比較解説、現場通訳までのトータルコーディネートにより、高度な専門性と高い満足度を保証いたします。

学生対象・薬学研修

✓ サンプル・スケジュール

		午前	午後
1	月	日本発 ロサンゼルス着	ロサンゼルス市内観光後 ホテルチェックイン
2	火	研修オリエンテーション 講義① ◆ 米国医療制度概要 ◆ 各医療サービスと患者の流れ（急性期病院、準急性期病院、専門外来、在宅医療等の連携）	現場視察① ◆ 大手総合病院(急性期) - 薬剤部門管理者による運営概要 - 院内薬剤部門の見学 - 外来ファーマシーの見学 - 新人薬剤師(レジデント)との面談
3	水	講義② ◆ 米国医療保険制度と近年の医療保険改革 - 公的保険制度 - 民間保険制度 - アメリカ薬局事情	現場視察② ◆ 地域調剤薬局 - 店舗内見学 - 調剤エリア見学 - 薬剤管理者、学生インターンとの面談 (薬剤テックとの分担、MTM、服薬指導、薬剤師による予防接種)
4	木	現場視察③ ◆ 薬剤師による講義 - 薬剤師になるまでの過程、専門薬剤師 - 学生薬剤師インターン、新人レジデント - 雇用機会 - 薬剤師の新たな役割と地位の向上	現場視察④ ◆ 療養型施設・介護施設用薬局 - 薬局内見学 (処方箋受け取りからデリバリーまでの流れ、施設とのコミュニケーション、施設へコンサル指導) - 薬局経営者との面談
5	金	現場視察④ ◆ 大手専門病院 - 院内薬剤部門見学(サテライト薬局含む) - 臨床薬剤師の業務内容 - 新人薬剤師とレジデンスプログラム	現場視察⑤ ◆ スペシャリティ薬局 - 調剤エリアの見学 - 薬局内外来治療ルーム - スペシャリティファーマシーのトレンド
6	土	終日自由行動	
7	日	終日自由行動	
8	月	現場視察⑥ ◆ 薬学部 - 薬学部カリキュラム紹介 - 大学特有の教育体制 - 実践的薬学教育、インターンシップ - 最近の薬学部教育のニーズとトレンド	現場視察⑥(引き続き) - 薬学生との交流セッション (学生による組織と活動の実際、学生生活紹介) - キャンパスツアー
9	火	現場視察⑦・ボランティア ◆ 総合シニアコミュニティ - ナーシングホーム(療養型施設) - 介護施設 - 施設内薬剤室の見学 - 臨床管理者との面談(薬剤師との連携)	- ボランティア活動・入居者との交流 (学校紹介、日本の歌・遊びの紹介、入居者の移動介助など) ◆ 研修のまとめ、質疑応答 ◆ アメリカ薬学研修 修了書授与
10	水	ホテル チェックアウト ロサンゼルス発	
11	木	日本着	



視察先の事情により、研修先・内容が変更になる場合がありますので、予めご了承ください。

作成：ミレニア・エデュケーション Copyright © Millennia Education 2018 本紙の無断複写・改造を禁止します。

>> お問い合わせ

ミレニア・エデュケーション
MILLENNIA EDUCATION
info@iryu-kenshu.com